

千里山会第11回総会の概況

朝から冷たい雨が降り続く二〇〇七年十一月十日(土)第十一回千里山会総会が、第五回より続いている御茶ノ水の東京ガーデンパレスにおいて開催されました。

十一時半の受付開始に先立ち、いつものように合唱隊は既に十一時から練習を始め、受付では、二六回生児玉絢子、奥田英子、二七回生宮林芳子、二九回生芦田英雄などの方々が、名札の準備等に忙しく立ち回っていました。

三々五々出席者がお見えになり、あちらこちらで久し振りの再会に歓声が揚がり、三階の平安の間に一歩足を踏み入ると、いつものような熱気が会場から伝わってきました。

出席予定者83名のところ、お二人が風邪等の体調不良で欠席。81名の出席者で、予定通り十二時に総会が始まりました。

総会 次第

司会	事務局長	奥田陽一
開会		
挨拶	世話人代表	大森 信
	柿崎眞吾氏へ感謝状贈呈	〃
会計報告・業務報告	十七回生	事務局長
特別講演	演題	習志野第九と私
展示品の紹介		友野信善
閉会		事務局長

奥田事務局長より総会資料による説明に次いで、監事が三分一克美氏から平田坦氏に交替、世話人再任の報告がありました。
柿崎氏へ十回生五十嵐葉子氏から花束贈呈あり
友野氏へ十七回生石田明子氏から花束贈呈あり

*大森世話人代表の挨拶要旨は次頁に掲載
*友野信善氏の特別講演要旨は12頁に掲載

休憩 10分

世話人代表挨拶

小雨の、ちよつと寒さを感じる日になりましたが、一年ぶりの千里山会総会にご出席くださいました皆さまを歓迎し、ご挨拶をさせていただきます。

今日は二つのよいことをお知らせします。一つは千里山会の世話人代表だった黒川高秀さんのこと、もう一つはいつも会のためにご尽力いただいている柿崎さんに感謝状をさしあげることです。

5年前に交通事故に遭われて以来、治療を続けられている黒川さんの近況を奥様にお伺いしましたところ、ゆっくりですが少しずつ良くなられ、右手がちよつと動くようになって、機械を使って奥様へ意思を伝え、車椅子でいくつかの医学関係の集会にも短時間出席されるようになったということでした。順調に回復されたら、来年の千里山会にはご出席いただけるかもしれません。献身的な介護をなさっている奥様には、千里山会の皆様からのお見舞いをお伝えしておきました。

柿崎眞吾さんは平成6年7月に開催された本会の前身である第一回東京同窓会以来千里山会の運営に尽力され、今日の隆盛に多大の貢献をしていただき

ました。特に会誌「千里山」を創刊号から第10号まで編集責任者として自らも執筆されると共に企画編集全般にわたって努力を続けて会誌の評価を高めてくださいました。世話人会では第10号の刊行を機に、後輩の方に会誌の編集を任せたいというご本人からの希望を受け、これまでのご尽力に対して、感謝状とささやかな贈り物を差し上げ、千里山会会員一同の心からの感謝の意を表すことにいたしました。

今日は、合唱隊の指揮をさせていただいていた友野信善会員のお話や、恒例のコーラスがあり、会員から皆様へのプレゼントもあります。懐かしい千里山の思い出や近況を話し合っって和やかに楽しい午後をお過ごしください。

感謝状

柿崎眞吾殿

あなたは平成六年七月開催された本会の前身である第一回東京同窓会以来千里山会の運営に尽力されました。とくに会誌千里山を創刊号から第十号まで編集責任者として自ら執筆されると共に企画編集全般にわたり献身的な努力を続けられ本会の評価を高めました。今日の隆盛に多大の貢献をなされました。茲にささやかながら贈り物を差し上げて会員一同心からの感謝の意を表します。

平成十九年十一月十日

千里山会世話人代表
大森 信



懇親会 次第

司会 二七回生 萩原直大
開会
乾杯 十三回生 石川 治
祝電 衆議院議員 藤村 修
遠来者・初参加紹介 司会者
クイズ正解者発表
ご寄贈の品物の贈呈 大久保千尋様より
河井 康郎様より
石井 庸三様より
みんなで歌いましょう 合唱隊
閉会 二六回生 細見 彰
校歌斉唱・今日の日はさようなら 全員

乾杯の音頭を今回初参加でサンフランシスコ在住の、十三回生石川治氏にご挨拶と一緒にお願いしました。戦争中の思い出から、銅冶金のエンジニアとして活躍されて定年前からアメリカへ移住されるまでを「二千里の道も遠からず」の題で会誌七号にご寄稿いただいています。

(石川治氏のご挨拶)

私は昭和十三年四月、三年生の一学期から昭和十五年三月、四年生の終わりまでの二年間、千里第二小学校にお世話になりました。
東京からやって来て東京に帰ったわけですが、東京の一、二年生の頃はまだ幼少でよく病氣しました。それが三、四年生の自然に恵まれた千里山の二年間で、すっかり健康な腕白少年に生まれ変わりました。最初は大坂の言葉に戸惑いましたが、いじめられた憶えもなく、同級生にも溶け込めて、周りの野山で心ゆくまで遊べた思い出は、少年時代の最高の思い出として残っております。
五年生のはじめに東京に帰りましたが、皇紀二六〇〇年の奉祝やら大東亜戦争の精戦の連勝で、旗行列などお祭り騒ぎの戦争一色、千里山時代のようなあの楽しい思い出は残っておりません。

千里山前後の東京の四年間より真ん中の千里山の二年間が、私の小学校生活の全てだったの思いは、アメリカ生活が長くなっても変わらぬ、今も「私の小学校」は「千里第二小学校」だと思っております。それでは母校の発展と皆さまのご健康を祈って、

乾杯!

遠来者紹介 (千は千里山)

石川治(13米國)、仲辻彰(13千)、森田千里(15千)、松村信男(16ハワイ)、辻明久(17沼津)、浅野倉平(20千)、井出(藤川)敏(20大阪狭山)、樺山(三笠)翠(20千)、和田忠博(20神戸)、芦田和雄(21高槻)、金尾(尾崎)景子(23広島)、泉谷(小西)代志子(24大阪)、奥田(細見)洋子(24千)、細見彰(26京都)、民野誠一郎(29豊中)、増田泰邦(39宇都宮)

初参加者

石川治(13)、米倉和八郎(13)、高橋(森田)万里(22)、泉谷(小西)代志子(24)、奥田(細見)洋子(24)、民野誠一郎(29)、蛭子隆彦(31)、三上正人(32)

ご寄贈品の贈呈式

ご寄贈者から、それぞれの決め方で当たったえ方々へ、手渡していただきました。

大久保千尋様(21回生)より

「自作のトウランドットの塗り絵本」

クイズ(会誌10号一六七頁)正解者の方々へ

9 飯島泰蔵、14 三分一克美、15 高橋景一、

20 浅倉倉平、20 久保利也、21 高田亘、26 奥田(渡部)英子、27 宮林(村田)芳子、29 芦田英雄他、他アミダクジで当たった方々に贈呈。

河井康郎様(24回生)より

「丹精込めてお作りになった菊の鉢植え」

各テーブルに配った菊の鉢植えを、各テーブルで希望者にジャンケンで決めていただき贈呈。石井庸三様(35回生)より

「ランチョン・マット」

大連でステーキハウスを経営され、「中国との往復の日々から持ち帰っていたものだもの」希望者の名札を箱に入れ、石井様の姉上である杉山秀子様に、箱から手探りで名札を抜き出していただき当選者を決定。その方々に贈呈。

シルバー大合唱

今回の懇親会は石川治氏の乾杯のご発声の後から戦前の少年少女達九回生から十六回生ぐらゐまでの全員が前に出られ、往時に男子女子それぞれが習った軍歌の合唱が威勢よく始まり、一気に会場が活況を帯びてきました。

戦後の小学生の司会者には初めて聞く歌ばかりで、七十年ぐらい前の学校を想像できました。

轟く砲音 飛び来る弾丸・荒波・廣瀬中佐
火筒の響き遠ざかる 跡には虫・婦人従軍歌
最後は季節の歌できつちり括られました。
秋の夕日に照る山紅葉・・・紅葉



てて、是非毎年ここで元気で会いしましょう」と力強い中締め挨拶がありました。

馴染みの薄かった校歌もすっかり斉唱できるようになり、再会を誓う「今日の日よさようなら」を高らかに歌いながらお開きとなりました。

懇親会を振り返って

千里山会の総会・懇親会出席者の年齢幅は毎回ほぼ三十年（今回も九回生飯島氏から三九回生増田氏まで）です。

これほど離れるといくら共通項が千里山でも景色、時代、生活、習慣、教育、遊び方はかなり異なったものだと思います。おまけにこの三十年の開きの間には、戦争がありました。戦前に青春時代・小学校時代を過ごされた方々と私（萩原昭和十八年生れ）たち戦後の時代を過ごしたものとでは、雲泥の開きがあると思います。

このように歳の開いた集団が、競って会を盛り上げていただくことは、この数年、司会を務める私にとって大いにありがたいこと。

若手の競演

宴もたけなわ、今度は負けじと若手の方からも今回初参加三二回生の三上正人氏が、三五回生の石井庸三氏のピアノの伴奏で「イエスタデー」はじめ数曲を披露。大いに盛り上がりました。

合唱隊とともに みんなで歌いましょう

尾川原奈美江氏のピアノ、城戸三千代氏のリードで、会歌のように定着した大先輩故保富康午氏訳の「大きな古時計」にはじまり、「丘を越えて」「濱邊の歌」「すみれの花咲く頃」など昭和初期から、「リンゴの歌」「水色のワルツ」「千の風になつて」と時を巡り、飛び入り参加もいつもより多く会場一杯に心ゆくまでの斉唱が響きました。

閉会 校歌 今日の日よさようなら

京都から参加の我等が誇る化学者細見彰氏の「これからも、親睦だけの目的で東京の地に集まる千里山小学校の珍しい同窓会を、皆で温かく育

今後もこのように是非競いあつて飛び入り大歓迎ですのでご協力をお願いします。

今年もまた受付、会場案内等を次の方々を終始ご協力を賜りました。26 児玉絢子、26 奥田英子、27 宮林芳子、29 芦田英雄の諸兄姉、写真の撮影は24 奥田陽一、26 細見彰、27 林裕三の諸兄です。心から厚く御礼申しあげます。（萩原記）

第十二回総会のご案内

日時 十一月十六日（日）正午開会
場所 お茶の水 東京ガーデンパレス

会員の皆様お誘い合わせの上ご出席頂きますよう。新しくご参加の方大歓迎です。ぜひともご紹介下さい。ご紹介は事務局までお願いします。



18 山崎・名田・劉・日向
17 友野・高橋・神谷・辻



11 伏見・平井 13 米倉・美川 9 飯島
10 徳田 13 石川・清水・仲辻 10 伊達



20 浅野・和田・長谷川・藤川・三笠
三輪・西岡・柏倉・久保



16 松村 15 森田 16 清水 15 高橋
29 芦田・民野 14 柿崎・山崎・三分一



全員 26 服部・村岡・細見・藤原・石原
大貫・渡部・中瀬・河井



全員 27 五十嵐・熊谷
林・萩原・村田・大石・吉田・柏倉



23 大藤 21 大森・高田 22 尾川原 23 尾崎・片山
21 大久保・芦田・平田 22 森田



24 服部・當眞・奥田・小西・五十嵐・河井
24 三島・細見 25 山崎

千里山会2007年総会・懇親会 出席者名簿

2007.11.10

お茶の水ガーデンパレス 平安の間

(回生別・五十音順・*印初参加)

- 9回生 飯島泰蔵
- 10回生 徳田迪夫、五十嵐(伊達)葉子
- 11回生 伏見千瑞子、三谷(平井)万里子
- 13回生 石川 治*、清水達夫、仲辻 章、美川州平、米倉和八郎*
- 14回生 柿崎眞吾、三分一克美、岡本(山崎)郁子
- 15回生 高橋景一、森田千里
- 16回生 清水健至、松村信男
- 17回生 高橋一三、辻 明久、友野信善、石田(神谷)明子
- 18回生 山崎不二雄、小木曾(名田)文子、小松(日向)暢子、寺澤(劉)美代子
- 20回生 淺野倉平、久保利也、長谷川宏有、和田忠博、井出(藤川) 敏、樺山(三笠) 翠、
小山(西岡)妙佳子、中内(柏倉)國子、米崎(三輪)ふゆ子
- 21回生 芦田和雄、大森 信、高田 亘、平田 坦、大久保千尋
- 22回生 尾川原奈美江、高橋(森田)万里*
- 23回生 金尾(尾崎)景子、黒川(大藤)幸子、佐怒賀(片山)弘子
- 24回生 奥田陽一、河井康郎、當眞健夫、服部宏紀、泉谷(小西)代志子*、
奥田(細見)洋子*、河合(五十嵐)和子、本間(三島)睦子
- 25回生 牧村(山崎)佳那子
- 26回生 細見 彰、村岡 進、大貫(石原)康子、奥田(渡部)英子、川原(河井)一恵、
児玉(服部)絢子、澤田(大貫)操子、高橋(藤原)禮子、下野(中瀬)龍子
- 27回生 五十嵐孝夫、熊谷克彦、萩原直大、林 裕三、城戸(吉田)三千代、戸島(大石)松子、
増田(柏倉)加子、宮林(村田)芳子
- 29回生 芦田英雄、民野誠一郎*
- 31回生 蛭子隆彦*、小野次郎、杉山(石井)秀子
- 32回生 一井邦敏、深川秀之、三上正人*、古川(藤本)道子
- 35回生 石井庸三
- 39回生 増田泰邦

以上81名



32 一井・三上・深川・藤本
31 小野・石井・蛭子 35 石井 39 増田



合唱隊演奏

【2006年度 千里山会収支表】

06年4月1日～07年03月31日

2007年3月31日

収入	金額	支出	金額
前年度繰越	1,049,481		
年会費 238名	476,000	通信費	128,555
内訳 05年 17名	34,000	振込手数料	
06年 219名	438,000	文具・コピー費	57,293
07年 2名	4,000	打合経費	14,020
振込手数料(会費振込分)	-18,850	慶弔費他	1,050
その他	6,385	会誌9号作成費	304,585
利息	418	会員名簿作成費	
小計	463,953	小計	505,503
懇親会費 84名	672,000	会食費	729,366
88,000		写真費	
		合唱隊諸経費	20,600
		記念品費	
		小計	749,966
寄付金 6名	48,600	繰越	978,565
合計	2,234,034	合計	2,234,034

参考 基金総額：617,000円 (1996年募集)

寄付累計：682,412円 (1996/4～2007/3 延94名、含切手寄付)

本日、千里山会の会計監査をした結果、処理は適正且つ正確であるものと認めます。

2007年11月10日

監事 三分一 克美

経過報告

- 07.06.15 千里山会会員名簿印刷
- 07.06.27 運営打合せ 場所：新橋セピオン
14柿崎眞吾 27萩原直大、高見信雄、林 裕三 24奥田陽一
- 07.09.10 会誌発送用封筒準備
24奥田陽一 26奥田英子
- 07.09.07 合唱隊打合せ 場所：国際ユースホテル
22尾川原奈美江 24河合和子 27城戸三千代
- 07.09.19 合唱隊歌集印刷
- 07.09.19 会誌10号及び会員名簿・総会案内状を発送、
会誌10号を千里山・佐井寺図書館へ寄贈
14柿崎眞吾 26奥田英子 27萩原直大 24奥田陽一
- 07.09.25 合唱隊歌集発送
- 07.10.31 合唱隊練習 場所：国際ユースホテル 7名参加
- 07.11.04 会誌関係打合せ 14柿崎眞吾 27萩原直大 24奥田陽一
- 07.11.06 お茶の水ガーデンパレスと総会準備の打合せ 24奥田陽一
- 07.11.10 2007年度 総会・懇親会 (詳細 会誌11号)
- 07.11.30 会計監査打合せ 21平田 坦 24奥田陽一
- 08.01.16 会誌関係打合せ 27萩原直大 24奥田陽一
- 08.02.05 会誌への寄稿依頼等発送 27萩原直大
- 08.02.16 会誌編集担当交代に伴うこれまでの寄稿者への挨拶状発送
14柿崎眞吾
- 08.03.21 2007年度会計処理決算資料作成
- 08.06.03 会誌11号編集打合 14柿崎眞吾 27萩原直大 24奥田陽一
- 08.07.02 会計監査 14三分一克美 21平田 坦 24奥田陽一
- 08.08.01 会誌10号を国会図書館に納本 14柿崎眞吾
- 08.08.13 会誌11号編集打合 14柿崎眞吾 27萩原直大 24奥田陽一
- 08.08.26 会誌発送用ラベル・名簿変更一覧作成 32 古川道子

【2007年度 千里山会収支表】

07年4月1日～08年3月31日

2008年3月31日

収入	金額	支出	金額
前年度繰越	978,565		
年会費 229名	458,000	通信費	153,150
内訳 06年 2名	4,000	振込手数料	420
07年 227名	454,000	文具・コピー費	24,266
08年 名	0	打合経費	12,982
振込手数料(会費振込分)	-18,060	慶弔費他	48,009
その他	225	会誌10号作成費	398,500
利息	1,266	会員名簿作成費	63,000
小計	441,431	小計	700,327
懇親会費 81名	648,000	会食費	715,152
@8,000		写真費	
		合唱隊諸経費	23,675
		記念品費	
		小計	738,827
寄付金 12名	82,850	繰越	711,692
合計	2,150,846	合計	2,150,846

参考 基金総額：617,000円 (1996年募集)

寄付累計：765,262円 (1996/4～2008/3 延106名、含切手寄付)

本日、千里山会の会計監査をした結果、処理は適正且つ正確であるものと認めます。

2008年7月2日

監事 平田 坦